



春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育にご理解ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、2月には学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。以下に質問紙回答結果の報告をさせていただきます。結果と共にこれまでの教育活動を振り返り、今後の改善に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

### 伏見住吉小学校 学校教育目標

「自ら学び、チャレンジし、共に伸びていく子」  
～主体性・社会性を身につけ、未来を創造する子どもの育成～

### めざす子ども像

すみよしの子 明るく楽しく元気に学校生活を送れる子ども

㊟ 素敵な笑顔で ㊦ みんななかよく ㊧ よく考え ㊨ しっかり学ぶ



## 児童

質問項目	実現度	
学校の学習がよくわかること	7.9	↓
話をしっかりときくこと	8	
相手にわかるように話すこと	7.4	↓
自分の思いや考えを書くこと	8.1	↑
毎日、家庭学習をすること	7.9	↓
毎日、家で読書をする	5.7	↓
楽しく学校に通うこと	8.7	↑
友だちとなかよくし、力を合わせる	8.9	↑
友だちやまわりの人たちを大切に	8.7	↓
進んであいさつをすること	7.7	↑
場に応じた言葉づかいをすること	8	
学校や学級のきまりを守ること	8.6	↑
「早寝・早起き・朝ごはん」・排	7.9	↑
便・歯磨きの生活リズムを付ける		
運動に親しみ、健康な体をつくる	8.1	
食の楽しさを味わい、進んで食	8.6	↑
べること		
危険から身を守り、安全に生活	8.7	
すること		
こまったことがあったとき、家	7.4	
の人や先生にそうだんすること		
学校をきれいにするために、そ	7.7	↓
うじすること		
学校・PTA・地域の行事に参加	7.9	↓
すること		

裏面に分析・考察を  
掲載しています。



## 保護者

質問項目	実現度	
基礎的な学習内容を理解すること	7.1	↓
話をしっかりと聞くこと	7	↓
相手に分かるように話すこと	6.3	↓
自分の思いや考えを書くこと	6.1	↓
家庭学習の習慣を身に付ける	6.4	↓
こと		
読書の習慣を身に付けること	5.6	↓
楽しく学校に通うこと	8	↓
なかよく協力し合って学校生活	7.9	↓
を送ること		
相手の気持ちを尊重できる優	7.7	↓
しい心をもつこと		
進んであいさつをすること	6.9	
場に応じた言葉づかいをすること	6.7	↑
ルールを守り、マナーを身に	7.4	
付けること		
「早寝・早起き・朝ごはん」・排	7	↓
便・歯磨きの習慣を付ける		
こと		
運動に親しみ、運動能力を向	7.7	↑
上させること		
食の楽しさを味わい、進んで	8.3	↑
食べること		
危険から身を守り、安全に生	7.9	↑
活すること		
学級・学校便り・ホームページ	7.6	↑
で学校の様子を知ること		
教職員に気軽に相談できる	7.1	↑
こと		
教室・廊下等の環境が整備	6.7	↑
されていること		
子どもに学校の様子を聞く	6.7	↑
こと		
学校・PTA・地域の行事に参加	7	↑
すること		
学校・保護者・地域が連携	6.1	↑
して子どもたちを育てること		

## 地域

質問項目	実現度	
学校が児童の学力向上に向け	7.6	
取り組むこと		
子どもたちが、進んであいさ	6.3	↑
つをすること		
子どもたちが、場に応じた言	6.3	↓
葉づかいをすること		
子どもたちがルールを守り、	7.6	
マナーを身に付けること		
子どもたちが運動に親しみ、	7.6	↑
運動能力を向上させること		
子どもたちが危険から身を	7.6	↑
守り、安全に生活すること		
学校便り・ホームページ等で	8	↓
情報を発信すること		
学校の教育環境が整備されて	7.6	
いること		
教職員がPTA・地域の行事に	7.1	↑
参加すること		
学校・保護者・地域が連携	8	↑
して子どもたちを育てること		

10ポイント（10p）満点で表示。  
R3第1回学校評価と比べ  
上昇に ↑ 下降に ↓ を記しています。



## 教職員

質問項目	実現度	
基礎的な学習内容を理解する	7.7	↑
力をつけること		
話をしっかりと聞く力をつける	7.1	↑
こと		
相手に分かるように話す力	7.1	↑
をつけること		
自分の思いや考えを書く力	7.7	↑
をつけること		
家庭学習の習慣を身に付ける	7.7	↑
こと		
読書の習慣を身に付けること	7.7	↑
楽しく学校に通っていること	7.1	↓
なかよく協力し合って学校生	7.7	↑
活を送っていること		
相手の気持ちを尊重できる優	7.7	↑
しい心をもっていること		
進んであいさつをしている	6.6	
こと		
場に応じた言葉づかいをして	6.6	↑
いること		
ルールを守り、マナーを身に	7.7	↑
付けていること		
「早寝・早起き・朝ごはん」・排	7.7	↑
便・歯磨きの習慣を付ける		
こと		
運動に親しませ、運動能力を	8.3	↑
向上させること		
食の楽しさを味わい、進んで	7.7	↑
食べていること		
危険から身を守り、安全に生	7.1	
活する力をつけること		
学級・学校便り・ホームページ	7.1	↓
で学校の様子を知らせること		
子どもに関わるトラブルを家	7.7	↑
庭と密に連絡をとり、解決		
すること		
教室・廊下等の環境を整備	6.6	
すること		
家庭・地域と積極的に連携を	7.1	↑
図り、取組をすすめること		
学校・PTA・地域の行事に参加	7.7	
すること		
学校・保護者・地域が連携	7.1	
して子どもたちを育てること		

# 結果分析について

## 児童の結果

第1回と比べ、実現度に大きな差はありませんでした。その中でも「楽しく学校に通うこと」、「友だちとなかよくし、力を合わせること」が上昇しました。教育活動に様々な制限がある中でも、学校に通うことのよさや友だちと協力することのよさを味わえたことが分かります。一方、「学校をきれいにするために掃除すること」が下降しました。コロナ禍において学校生活様式が一変し、清掃活動においても感染症対策として雑巾がけを控える等の様々な制約が、下降につながった要因の一つであると考えられます。

## 保護者の結果

第1回と比べ、実現度が少し下降した項目が目立ちました。特に「基礎的な学習を理解すること」や「家庭学習の習慣を身に付けること」です。漢字の読み書きや算数の四則計算等の基礎的な力は、繰り返し学習しないと身に付きません。また、自ら進んで学習をするという習慣は、計画を立てたり、見通しをもって行動したりと、社会で生きていくうえでとても大切な力を付けることにつながります。次年度は、子どもたちが自分で学ぶことの「大切さに気付く」、「楽しさを知る」ことができるような取組を進めていきたいと考えています。

## 地域の結果

第1回の結果よりも全体的に実現度の上昇が見られます。「子どもたちが運動に親しみ、運動能力を向上させること」の実現度が大きく上昇しました。この項目は、児童・保護者・地域・教職員ともに実現度が上昇しています。コロナ禍において運動制限がある中でも、子どもたちが運動に親しむことができるように工夫を凝らした成果が表れているといえます。

## 教職員の結果

多くの項目で実現度が上昇しました。特に「家庭・地域と積極的に連携を図り、取組をすすめること」、「運動に親しませ、運動能力を向上させること」の項目で、1p 以上も実現度の上昇が見られました。運動に親ませることにについては先に述べた通りですが、「学校と保護者・地域の連携」の項目についても保護者・地域・教職員ともに実現度が上昇しています。これは、感染症拡大防止対策により、来校して子どもたちの様子をご覧になっていただけない中だからこそ、より三者のつながりを意識して教育活動を進めてきた成果であると考えています。

今後も、様々な制約がある中でも創意工夫を凝らし、保護者の皆様や地域の皆様に子どもたちの頑張っている様子が伝わるよう、心がけて参ります。



## 全体の傾向・今後の課題について



今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、予測困難な中での学校生活を余儀なくされました。コロナ禍による教育活動の自粛や制限によっても学校教育に大きな変化が起きました。今後も、社会の状況も見据えながら、目の前の児童の実態を捉え、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を通して学びの質を高めること、日々の授業と家庭学習との連動を通して自学自習の習慣化を図ること、自他を大切に「公共の精神」に基づく態度を育むことを目指し、それらを保護者、地域にも発信し、協力を求めていると考えています。

### 確かな学力

今年度は、国語科の学習を切り口として、授業における子どもたち同士の「対話の充実」をメインに学力向上の取組を進めてきました。「協働的に学ぶ場を意図的・計画的に設定すること」、「付けたい力を教師と児童が明確にもつこと」、「課題提示を工夫し、子ども自らが問いを見出すような仕掛けやその問いを解決するための適切な支援をすること」により、子どもたちの積極的な対話の姿を引き出すとともに、子どもたちそれぞれが、「できた!」を実感できる授業づくりを目標としてきました。今後も「友だちに考えを伝えることのよさ」や「友だちの考えを聞くことのよさを」実感することのできる授業の中で、子どもたちの学びを育んでいけるよう、学習の質を高めていきたいと考えています。

### 豊かな心

コロナ禍においても、児童の「楽しく学校生活を送ること」に関する項目の実現度が高く維持されていること、第1回の結果より上昇していることをうれしく思います。また、自分から進んであいさつすることや、ルールやマナーに関する項目についての実現度が上昇していることは、1年間の成果であると言えるでしょう。今年度は、制限ある学校生活の中でも、地域の方々と連携した伝統文化教育や探究的な学習を進めることができました。来年度も、地域をはじめ、様々な人々と交流する体験活動等を通して、社会に主体的に参画する意識と行動力を育てていきたいと考えています。さらに、互いを認め合い、高め合う集団作りを目指し、児童の主体的・自発的な活動を尊重しつつ、指導を徹底していきたいと考えています。

### 健やかな体

今年度も児童・保護者・地域・教職員の「運動に親しむこと」に関する項目は全体的に高い評価です。今年度も「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準の下、体育学習や部活動の実施にあたっては、組織的・計画的な安全管理・健康管理を徹底してきました。体を動かすことが、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現等を通じてコミュニケーション能力や論理的思考力を育むことにも資することを踏まえ、心と体を一体としてとらえた指導を継続していきたいと考えています。

## 記述欄より

「ご家庭で効果的であった取組」について、いくつかご意見を紹介します。

○朝、起きて欲しい時刻の15分前に一度覚醒させておくと、寝起きが良くなったと感じています。

⇒ 食事、運動、休養、睡眠の調和のとれた生活習慣を身に付けることは、心身の健やかな成長や健康保持につながります。学校における「新しい生活様式」を踏まえ、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質・能力を育成するため、発達の段階に応じて系統性のある指導ができるよう、指導内容の体系化を図っていきます。

○家庭では、子どもの好みに関わらず、何でも食べさせるようにしています。

⇒ 学校では、生涯にわたる心身の健康の保持増進を目指して、学校給食を「生きた教材」として食に関する指導を推進していきます。学校における「新しい生活様式」を踏まえ、和やかな雰囲気の中で、みんなと一緒に食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする気持ちを育むことができるよう、取組を進めて参ります。



スペースの関係上、すべてのご意見を紹介できず申し訳ありません。いただいた貴重なご意見は今後の学校教育活動に生かしていくようにします。ご協力ありがとうございました。